

## 【取組内容④】地区小・中学校の情報共有と研修機能を兼ねた同一チーム作成とその運用

## 中仙地区小中の合同研修

「中仙教」の特色の一つとして、小中の授業を見合う会がある。これまでは、実際に学校に出向いて参観していたが、地区内の教員がもっと気軽に参加できるよう、また、新しく地区に異動になった先生方の研修機会にもなることを考えて、授業をリモートでつなぐことに取り組んだ。指導案も、地区内の教員は誰でも見られるようクラウド上に保存している。授業を録画することで当日時間調整ができなかった先生方も後で見ることができるようにした。校種間の様子を知ることや、今後入学してくる子どもの姿、卒業後の姿、学習内容の系統性や総合的な学習の時間の取組の情報交換など、それぞれの学校の教育活動について学校間の情報の共有がスムーズになり、業務改善につながったと感じている。

下の写真は学校DX戦略アドバイザーの先生を招いて行った研修会の様子である。対面とリモートのハイブリッド型の研修で、クラウド上で意見の出し合いや練り合いも試みた。

本地区の教職員が一堂に会して研修をするのは初めてであったが、このようにハイブリッドにすることで開催しやすくなった。また、研修の過程や書き出した内容もデータとして残り、振り返ることもできる。地方にある学校間連携のモデルとしても期待できるのではないだろうか。



地域の小中全職員チーム・研究授業のリアルタイムシェア



地域の全職員参加の研修会の様子